

# 平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 道路環境課

担当名: 交通事故緊急対策担当

内線: 5098

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B14	道路安全施設費			一般会計	土木費	道路橋りょう	道路維持費	道路安全施設費	
事業期間	昭和41年度～	根拠法令	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律 道路法			戦略項目	05 大規模災害への備え		
					分野施策	030301 埼玉の活力を高める道路整備			
<p>1 事業の概要</p> <p>道路付属物の適切な維持管理、整備することにより、交通事故の防止と交通の円滑化を図る。</p> <p>事務費の節減による減額 (1) 道路付属物の修繕 3,838千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 道路付属物(照明灯等)の電灯料 道路付属物の電気設備を使用するため、電気料金を負担する。</p> <p>イ 道の駅、トンネル等の維持管理 道の駅やトンネル等における設備機能を維持するため、保守点検を実施する。</p> <p>ウ 交通事故調査業務 交通安全対策の基礎資料とするため、交通事故等の状況を分析する。</p> <p>エ 道路付属物の修繕 道路交通の安全、円滑を確保するため、道路付属物の破損箇所を修繕する。</p> <p>オ 道路付属物の整備 道路交通の安全、円滑を推進するため、道路付属物を整備する。</p> <p>カ 外国人にも分かりやすい道路標識整備 道路案内標識に英語表記を併記することにより、外国人にもわかりやすい標識を整備する。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>				<p>(2) 事業計画 道路照明灯(29,862基)や防護柵(1,407.5km)等の道路付属物について、劣化状況に応じた修繕を実施する。</p>					
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>				<p>(3) 事業効果 道路付属物を適切に維持管理、整備することにより、安全かつ円滑な交通環境が図られ、交通事故の削減と道路通行の安全を確保できる。</p>					
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×10.5人=99,750千円 (組織の新設、改廃及び増員なし)</p>				<p>(4) 県民、民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 地元住民や学校関係者、関係機関が参加した交通安全対策ワークショップを開催している。</p> <p>(5) その他 イ 道の駅、トンネルの維持管理 負担対象: 道の駅はにゅう外5箇所 対象経費: 道の駅等の維持管理に要する費用 負担率: 所要額 相手方: 羽生領土地改良区他3者 工期: 毎年度</p>					
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	補正後の 予算額
決定額	3,838							3,838	1,727,883
現計額	1,731,721							1,731,721	